

跡見学園女子大学 学報



跡見学園女子大学に、2002年（平成14年）全国初のマネジメント学部が誕生し、早10年の歳月が経過いたしました。この間社会的評価の高まりと共に志願者数も順調な伸びを示して参りました。

平成24年6月2日（土）文京キャンパス・ Blossamホールに於いて、マネジメント学部創設10周年記念シンポジウムを開催致しました。テーマは「ネクストジャパン日本復興計画を考える」とし、ゲストコメンテーター杉尾秀哉氏（TBSキャスター）と本学教員が率直に語り合い、会場は盛況でほぼ満席となりました。当日は退職された教員、学部OGも駆け付け、さらに、在学生以外の一般の方、企業の方、多数の参加者が聞き入っておられ、シンポジウムは成功裏に終える事が出来ました。今後も「実践力を備えた教養人・品性ある社会人・自律し自立した女性」を目指した、学内外での学生の活躍に期待するところ大であります。

記事内容

- 跡見花蹊記念奨学生・跡見校友会一紫会大学院奨学生表彰……………(2)
- 夏期海外語学研修終了報告……………(3)
- 2012年度紫祭開催 ○学生会情報……………(4)
- CLUB NOW ○セロったら ○街歩きツアーガイド……………(5)
- 第11回異文化交流フォーラム ○ゼミ紹介……………(6)
- 福島県会津若松市とのパートナーシップ協定の締結について ○こんにちは！就職課です。……………(7)
- 「平成24年度新規採択『科学研究費補助金にかかる研究内容の概要』」 ○誕生！文京に教材作成ラボ……………(8)
- 平成25年度 大学・大学院 全入試日程……………(9)
- 百人一首・跡見花蹊新収資料展 ○マネジメント学部創設10周年記念シンポジウム終了報告……………(10)
- 節電の取り組み……………(10)
- 新座キャンパス1号館の耐震への取り組み ○ネットワークリプレイスについて……………(11)
- 花蹊の筆墨 ○行事予定 ○ニュース 今年は跡見花蹊 YEAR!!……………(12)

跡見花蹊記念奨学生表彰

平成24年6月22日（新座キャンパス）および平成24年6月26日（文京キャンパス）に学業奨励賞として跡見花蹊記念奨学生75名が表彰されました。

奨学生は前年度の学業成績上位者から選考され、表彰状と奨学金（授業料の1学期分相当額）が支給されました。



学部2年生

文学部人文学科

文学部現代文化表現学科

文学部
コミュニケーション文化学科

文学部臨床心理学科

マネジメント学部
マネジメント学科

マネジメント学部
観光マネジメント学科

マネジメント学部
生活環境マネジメント学科

学部3年生

文学部人文学科

文学部現代文化表現学科

文学部
コミュニケーション文化学科

文学部臨床心理学科

マネジメント学部
マネジメント学科

マネジメント学部
観光マネジメント学科

マネジメント学部
生活環境マネジメント学科

学部4年生

文学部人文学科

文学部
コミュニケーション文化学科

文学部臨床心理学科

マネジメント学部
マネジメント学科

マネジメント学部
生活環境マネジメント学科

大学院2年生

人文科学研究科臨床心理学専攻

マネジメント研究科
マネジメント専攻

跡見校友会一紫会大学院奨学生表彰

平成24年6月29日に学業奨励賞として3名の跡見校友会一紫会大学院奨学生が表彰されました。

奨学生は前年度の学業成績上位者の中から決定し、表彰状と奨学金（授業料の一学期分の二分の一相当額）が支給されました。



大学院2年生

人文科学研究科臨床心理学専攻

人文科学研究科臨床心理学専攻

マネジメント研究科マネジメント専攻

夏期海外語学研修

夏期海外語学研修総括

全学共通科目運営センター長 石田 信一

今年度の夏期海外語学研修は中国・北京語言大学（H24.8/5～8/30）、英国国立スターリング大学（H24.8/5～9/5）の2校で行われた。北京語言大学へは8名、英国国立スターリング大学へは41名の学生が参加した。北京語言大学では今年度初めて研修をおこなった。海外からの留学生も多く国際性豊かなキャンパスで3週間、午前中は中国語の授業、午後は文化体験等の選択授業を受講した。スターリング大学での研修は今年で4年目を迎えた。緑に囲まれた美しく静謐なキャンパスで4週間、午前中は英語の授業、午後は歴史遺産散策等のアクティビティと盛りだくさんの研修であった。初めはカルチャーショックと生活環境の変化に戸惑う学生もいたが、研修を通じて積極性を身につけ、語学力の向上に役立てることができた。もとより語学授業の質の高さに定評がある両大学が異国の文化を肌で感じ国際的な視野を広げる貴重な機会を与えてくれたことに感謝を申し上げたい。

英国国立スターリング大学での語学研修を終えて

文学部臨床心理学科3年

私はこの研修で、英語でのコミュニケーション能力の向上、異なる状況での自分自身への挑戦、海外の同世代の人たちの考え方を知るということを目標にしました。

最初は英語力の無さを痛感しました。初歩的な単語しか使えず、ネイティブの発音も聞き取れませんでした。しかし現地では友達ができ、食事を共にするうちに会話できるようになりました。簡単な単語や文章でも、常に自分の意見が言えること、工夫し伝えようと努力することが大切であると学びました。

私は研修に行く前、人を国で判断していたと思います。

しかし彼らと話しているうちに大切なのは国ではなく、その人自身の考え方が大切なのだ学びました。彼らの多くは自分が専攻する学問や生き方にポリシーを持っていました。強い探求心です。とても刺激になりました。私も胸を張って自分が探求してきたことについて話したいと強く感じました。

次はその目標に向かって頑張っていきたいと思いました。



北京語言大学での語学研修を終えて

文学部コミュニケーション文化学科3年

今回、1ヶ月間の夏期海外語学研修を通して、自分の想像していた以上に様々なことを学びました。北京語言大学での授業は細かくクラス分けされていて、一人一人のレベルに合った授業を受けることができました。それは安心でもあり、プレッシャーでもありました。

様々な国籍を持った年齢もバラバラなクラスメイトに囲まれ、受動的な日本での授業とは違う、積極性を求められる授業はとても新鮮で刺激的なものでした。クラスメイトの意識の高さや探究心の違いなど、共に生活をしていくうちに自分の考えの甘さに気付かされました。

授業の中には人生観や結婚観、価値観など、自分の考えを発言し合う時間もあり、自分の考え方を人に話す、又は自分とは違う考え方を知るととても貴重な経験でした。日本には得られなかったであろうものをこの短期留学は沢山与えてくれました。たったの1ヶ月なんて短すぎる。長期でまた勉強をしに行きたいです。





ごきげんよう。今年の紫祭のテーマは「青春桜歌～SKR45～」。精一杯咲いて、翌年にはまた新たに花を咲かせる新座キャンパスの桜のように、今だからこそ出来ることを目一杯楽しみ、伝統ある跡見でいつまでも色あせない思い出となるように願いを込めてのテーマです。今年紫祭実行委員のメンバーは約100名となり、大変賑わいをみせております。実行委員一同力を合わせ精一杯頑張りますので、皆様お誘い合わせのうえ、ご来場ください。

参加団体企画一覧

飲食販売

(有)ハイカラ	村上ゼミ2年
REALIZE	村上ゼミ3年
コープガールズ	天文愛好会
バスケットボール部	軟式野球部
バドミントン部	「ぶっとばそうぜ！」企画
バレーボール部	やまさわーくる
マンドリンクラブ	チョコレート愛好会
ロリーポップ	紅茶クラブ
学生会本部	ATM クッキングスタジオ
宮崎ゼミ	茶道部
硬式テニス部	芝原ゼミ2年
紫祭実行委員会	芝原ゼミ3年
心理学検定部	芝原ゼミ4年
青空ライブ愛好会 One☆ギター	

展示・発表

跡見ウィンドオーケストラ部	山澤ゼミ2年
紫祭 OG	写真部
体育会チアリーディング部	書道部
サイコロ倶楽部	焼き物研究部
お絵かき同好会	内村ゼミ
エコキャンパス研究会	美術部
ダンス部 A☆fig	文学研究部
跡見ニューツーリズム研究会	放送文化研究部
ボランティアサークルさくら	漫画研究部
ルネサンスクラブ	演劇部
軽音楽部	華道部
競技ダンス部	合唱団
映像映画愛好部	古美術研究部
広告研究部	

*企画内容は変更する場合がございます。ご了承ください。

学生会情報

学生会本部 会長

ごきげんよう。心地よい季節となり、秋学期が始まりました。今回は6月に開催されました学生総会及び学長と語る会についてご報告いたします。

学生総会では平成23年度決算報告、平成24年度予算案及び新規設立団体等の審議を行い、すべて無事承認されました。学長と語る会では学長、副学長、学務部長、事務局長にご出席頂き、事前に寄せられた、語学授業の能力別クラス分け、履修登録申請期間の改定、新座キャンパス大学バスやカラス対策等の要望に丁寧なご回答を

いただきました。また、会場からも意見があがり、大学生活について考える貴重な機会になりました。ご出席いただいた先生方、学生の皆さんご協力有難うございました。出席できなかった皆さんは是非議事録をご覧ください。来年度以降もより良い会が開催できるよう努力していきたいと思っております。

さて、現在私たちは今年度紫祭に向けて着々と準備を進めています。学生会本部は後夜祭を紫祭実行委員会と共催し、模擬店コンテスト・花火等を実施いたします。紫祭の締めくくりに秋の夜空に打ち上がる美しい花火をぜひご覧ください。皆さんの積極的な参加をお待ちしております。

CLUB Now

競技ダンス部

こんにちは！競技ダンス部です。

6月10日首都大学東京で開催された第14回皐月杯争奪学生競技ダンス選手権大会で団体優勝致しました。そして、コミュニケーション文化学科3年松永早紀さんがワルツとスローフォックストロットで5位という素晴らしい成績を残しました。



私たち競技ダンス部は、東京大学と、跡見学園女子大学、日本女子大学、東京女子大学の4つの大学で活動しています。名前は東京大学競技ダンス部ですが、跡見の部活動としても自立しており、新座キャンパスで週に1回練習しています。跡見の練習に加え、東京大学で行われる正式練習に週に2回、休日に自由練習を行っています。

良い結果が残せるよう、部員一同精進して参りますので、応援のほどよろしくお願ひいたします。

また、この夏にはチャリティーイベント、ボランティアを行う予定です。ダンスを通していろいろなことにチャレンジしていこうと思っています。

心理学検定部

ごきげんよう！私たち心理学検定部は、心理学検定に向けての学習をしている部活です。趣味やスポーツの部活が多い中、学習をする部活なんて何だか珍しいと思いませんか。なぜ部活で勉強を……と思う方、いらっしゃるかもしれません。それでは、その秘密の一つをちらっとここでお伝えしたいと思います。それは、学習が大好きになってしまうという秘密です。心理学検定部の学習会では、知識の「Input」だけではなく、「Output」もしているという点です。用語を調べるときに辞書の意味のまま理解するのではなく、自分の言葉・簡単な言葉におきかえて理解するように、また他者に説明できるようにと努めています。そうすると、自分が「理解できた」ということが増えてきますよね。そしてそうなる……はい、ここまでです。その秘密を知りたい方・興味を持った方は、毎週月・水～金曜日の昼休みに新座キャンパスで活動しているのでぜひ覗きに来てみてください。



セロったら

マネジメント学部マネジメント学科4年



昨年から芝原ゼミで行っているべったらプロジェクトで好評を呼んだ「セロったら」が、この度夏限定で発売されることとなりました。

私たち芝原ゼミでは、

老舗漬物メーカーと提携し、300年の江戸伝統文化べったら市とべったら漬の若者認知度向上を目指し様々な活動に取り組んでいます。その中で、「この美味しいべったら漬を幅広い世代にもっと楽しんでもらいたい」といった思いから工夫を重ね誕生したのがこの「セロったら」です。甘味と歯ごたえ抜群のべったら漬と、セロリのみずみずしさがコラボレーションした夏にぴったりのお漬物です。夏限定の販売ということで、残念ながら現在は販売終了となっております。また「セロったら」の他にもべったら漬のアレンジレシピを10月19、20日のべったら市にてご紹介いたしますので、ご来場お待ちしております。



街歩きツアーガイド

マネジメント学部観光マネジメント学科3年

私たち篠原ゼミ・芝原ゼミ生は、6月5日(火)に産学連携事業となる「日暮里・谷中街歩きツアー」を実施いたしました。実際にお客様を相手にガイドを行うことや、企業との連携という点でとてもプレッシャーがありました。そのため、2か月間何度も話し合いを行ったり、現地でのフィールドワークを行うなど、日々努力を重ねました。また、「いかにお客様にツアーを楽しんで、感動してもらえるか」をゼミ生一人ひとりが考え、手作りのガイドブックやメッセージカードを作成するなど工夫も凝らしました。当日は、失敗した点もありましたが、お客様との会話を楽しみながら笑顔でガイドを行うことができ、お客様の「ありがとう」の言葉が何よりうれしかったです。ガイドの厳しさ、そして楽しさを知ることができ、とても貴重な経験になりました。



第11回異文化交流フォーラム

人文科学研究科日本文化専攻 教授 矢島 新

大学院の日本文化専攻では、毎年春秋の二回、異文化交流フォーラムという催しを実施しています。昨年の学報にも第9回のフォーラムについて報告していますので繰り返しになりますが、日本に滞在されている外国人研究者や留学生を講師にお招きして、日本と講師の母国との文化面での比較や、日本での研究成果などを講演していただき、それを踏まえて講師と大学院生や担当教員がディスカッションを行なうという内容です。

日本文化専攻に在籍する大学院生に、日本文化を学ぶようとしている外国人研究者との交流の機会を与えて自国の文化を研究する際にも外からの視点が大切であることを体感してもらい、国際感覚を養ってもらうのがこの催しの主な目的ですが、学部学生の参加も徐々に増加する傾向にあります。今回も9名の学部学生が参加しましたが、彼女らにとっても、大学院という存在を肌で感ずる

良い機会となっているものと思います。

講師としてお招きする方は、ようやく日本語が話せるようになったばかりの若い留学生から、各分野ですでに業績をあげておられる一流の研究者まで幅が広く、出身地も様々ですが、昨年秋の第10回の講師がビジネスの現場で活躍しておられる韓国人の方であったように、やはり韓国、中国、台湾などの近隣のアジア諸国の研究者をお招きすることが多くなっています。

6月30日に行なわれた第11回のフォーラムの講師は、ともに成城大学の大学院で修学中の、韓国人留学生の姜政模さんと中国人留学生向麗君さんでした。お二人は来日してまだ日が浅い若い研究者でしたので、専門に勉強されていることではなく、身近な生活習慣などから気付いた母国と日本の違いなどを話していただきました。本学の大学院生とも世代が近いこともあって討議は盛り上がり、楽しい時間を持つことができました。

ゼミ紹介

文学部現代文化表現学科 准教授

伊藤 穰

現代文化表現学演習Ⅰ(コンピューターと現代文化)

伊藤ゼミでは、情報技術と文化表現について、多角的に学び、実践することを通して、ネット社会の現状や、これからの変化、そして、様々な表現技術について考察しています。

ゼミ生には、様々な興味や関心、目的を持った学生が集まっています。SNSなどのサービスが人間関係にもたらす効果や、著作権についての日本と海外の考え方の違い、電子書籍の現状や最新のネットビジネスなどに興味を持つ人達がいる一方で、ゲームやCG映像など、アート作品の製作を目指す人も半数近くいます。

こうしたバラエティに富んだテーマに対応するため、PC教室を使って、ウェブ技術の基本であるhtmlや

CSSだけでなく、JavaScriptによるプログラミングの基礎を指導しています。また、アフィリエイトサイトの企画立案および制作などを体験して、サービス提供者側の視点を持つ訓練もします。これらにより、日頃はブラックボックスとして接しているウェブの中身にふれ、その構造を理解していきます。さらには、情報社会についての理解を深めるため、ICT関連のニュースを学生に取り上げさせ、それについての解説を行うとともに、学生自身が考察する機会も定期的に設けています。

学生達のなかには、とくに技術的な内容に不慣れな人もいますが、皆が課題に意欲的に取り組んでいます。今後は、様々なソフトウェアの使用方法なども指導してゆく予定です。情報社会の動きについての理解と、技術の両面を修得した人材となってくれることを期待しています。

マネジメント学部観光マネジメント学科 准教授

鶴田 雅昭

観光マネジメント学演習

(観光産業とホスピタリティ・マネジメント)

鶴田ゼミでは、2年実践ゼミを事前学習として位置づけ、そこで経験した軽井沢のリゾート・ホテルにおける1ヶ月程度のインターンシップを踏まえています。ゼミの課題は、ホテルにおけるホスピタリティやマネジメントについて理解することです。今日のホテルが、サービス産業ではなく、ホスピタリティ産業とされる理由は何処にあるのか、客室料金などの様にして設定されるか、ホテルの各施設では如何にしてコスト削減に取り組んでいるのか等について研究しています。

ゼミ生のなかには3年から参加した学生も若干名ありますが、大半は実践ゼミからの学生で、ホテルへの就職を目指しています。

ゼミでは、必要に応じてホテルのバックヤード見学や、関係者を招いて講演して頂いたりしています。写真は、ロイヤルパーク・ホテルを見学した時のものです。このほか教室外での学習として、春学期にはゼミ生に首都圏におけるシティー・ホテルについての調査をさせています。



ロイヤルパーク・ホテルにて

福島県会津若松市とのパートナーシップ協定の締結について

7月25日(水)、福島県会津若松市役所において、本学は会津若松市とパートナーシップ協定を締結しました。

今回のパートナーシップ協定では、東日本大震災に伴う東京電力福島第一原発事故の風評被害により、観光客の激減などの苦戦が続く同市に対し、大学が包括的に支援すると共に、更なる連携強化を目的としています。学術研究や地域活性化、人材育成などを通して、本学と同市の持つ資源を相互に活用し、協力体制を確立することを内容とした協定です。

従来、会津若松市は全国から訪れる修学旅行生をはじめ、多くの観光客で賑わっていましたが、2011年3月の震災以降、観光客が激減しておりました。そうしたさなかの同年9月、本学のアカデミック・インターンシップによって学生数名が同市を訪問し、観光客誘致の活動を実施。これを契機に同市との連携がスタートしました。

活動当初、観光を学ぶ学生が同市の抱える深刻な風評被害の現場を視察し、現状を把握しました。そして会津若松市長に、女子大生ならではの視点を活かした風評被害対策を提言しました。同年10月には学園祭「紫祭」

において、会津若松観光物産協会との連携も実現。会津若松観光PR・物産展を実施し、市長への活動報告および学園祭での収益金の寄付を

しました。翌2012年1月には同市を再訪問。会津若松観光の魅力を様々な観点から洗い出しました。現在は、女子大生の視点を活かした斬新な会津若松観光の旅行商品開発に取り組んでおります。

25日(水)の締結式では、本学の山田徹雄学長と室井照平会津若松市長が協定書に署名をして、同協定が締結されました。締結式では記念品が交換され、本学からは5種類5本の桜が本協定記念樹として贈呈されました(当日は樹名板を贈呈)。会津若松市からは記念品として会津地方の郷土人形「赤べこ」が贈られました。

なお、本学と自治体との協定は、キャンパスの所在地の埼玉県新座市・東京都文京区に続く3例目です。



こんにちは！就職課です。

学生サービス向上への、「3つのサポート」

「Face to Face を最重要とし、学生一人ひとりに合わせた“個別サポート”」
 「就活テクニックではない、“自分”で勝負するための“実践力サポート”」
 「企業とのネットワークを構築し、学生と企業を結ぶ“連携サポート”」

私共就職課は、学生一人ひとりの方向性や適性、個性にあわせたきめ細かい支援を行なっています。就職活動は学生にとって、自分の進むべき道＝就きたい仕事をする場所を探す、という意味での「自立」であり、選考に通過しない等、自分がなかなか評価されない「挫折」を経験する機会です。

激動する雇用環境の中で学生と社会をジョイントする役目である私共は、個人の主体性を尊重し、日々学生の皆さんと向き合い、実践的なカリキュラムを行っています。

就職活動にマニュアルはありません。むしろマニュアルがないからこそ学生個人が自分で方向性を考え歩いていく、そういった学生の活動をしっかりと支えています。

保護者の皆様をお願いしたいこと

昨今の就職活動は、学生のみならず保護者の関心も非常に高く、様々なアドバイスをされているかと存じます。その中で、私共就職課が日々学生と接していて感じている、「親と子の就活」について、是非お願いしたいことがあります。

お願い1 就活を通して学生は急成長をします。社会の先輩としてアドバイス頂き、一人の大人の女性として評価してください。

お願い2 適度に放っておくことも大切です。そっと手を差し伸べるのが良いかもしれません。

お願い3 保護者の皆様の就職活動時代と、現在の採用マーケットには大きな乖離があることをご認識ください。

お願い4 学生が自分で努力して内定を取ってきたら、まず褒めてください。

その努力を評価し、喜びを一緒に分かち合ってください。

このお願いは、私共が日頃学生と向き合っ感じ取ったことと、企業の採用担当者様のお話から得たことを記しました。

学生一人ひとりがより良い進路を決定するために、今後も引き続き尽力してまいります。何卒宜しくご協力の程お願い申し上げます。



3年生の春からスタートする、「キャリアセミナー」。実務家やキャリア教育のプロを招聘して月1回全12回開催します。

企業と本学との橋渡し「就職懇談会」。毎年100社余りの企業人事担当者様にご参加頂き、ネットワークを深めています。



跡見の誇る「自己表現プログラム」。自分自身をどう人に伝えるかをグループの中で体験することによって、その難しさや方法を理解し次のステップに活かします。



学生皆さんの就活が実りあるものとなるようサポートしています。

「平成24年度新規採択『科学研究費補助金にかかる研究内容の概要』」

文学部人文学科 助教
阿部 一哉

研究課題

「日独「句例」対訳データベースの構築」

ドイツ語学習者にとって、文法のきまりごとに従って、語と語を組合せ、一から文を作り上げることは、勉強にはなるのだろうけど、結構大変です。

そこで、私は大学の授業で独作文を指導する際に、文を作るという本題に集中してもらうため、予め「Tennis spielen-テニスをする」のような語よりも大きく、文より小さいまとまりをヒントとして用意します。私はこの語よりも大きく、文より小さい単位での用例を、便宜上「句例」と呼んでいます。

句例は確かに便利なのですが、必要なときに自分で用意するのは大変であるし、教科書や辞書に所収されているものも数の上で十分とは言えません。そこで私は句例だけを大量に集めた用例集があったら便利だろうなとぼんやり考え始め、これを具体的な形にしようと研究を行うことにしたのです。

句例集を作成するにあたって、自分や、他のドイツ語教育者・学習者が本当に便利だと思えるモノを作るために、何が大事か考えて、結局次の3点に絞り込みました。

- ドイツ人がよく使う句例を収集しよう
- ターゲットは日本人のドイツ語学習者にしよう
- だれでも使えるものにしよう

この3点に従って、大量の電子言語資料であるコーパスを用いて使用頻度の高い句例を収集し、日独対訳形式で形を揃え、インターネット上にオンライン公開することを目指し、句例集を作成しています。この句例集は、2013年度中に公開予定です。公開された暁にはぜひご利用いただけたらと思います。

マネジメント学部生活環境マネジメント学科 助教
内村 理奈

研究課題

「近世・近代フランスの服装規範に見られる

ジェンダー観」

フランスでは17世紀以降、礼儀作法書が大量出版されることによって、宮廷に起源をもつエチケットが広く流布され、中でも服装規範は、習俗の洗練に貢献しました。私がこれまで行ってきた調査結果では、近世フランスの礼儀作法は宮廷人を中心とする男性を主な対象にしていたことが明らかです。しかし、近代になるとその対象は女性中心になり、背景にはパラダイム転換が存在すると思われまます。礼儀作法の背後にあるジェンダー観の変遷と、モードと密接な礼儀作法の社会的意味の変遷を明らかにすることが本研究の目的です。史料は、礼儀作法書、戯曲、文学作品、モード雑誌などの各種文献と、版画などの図像史料を用い、歴史学、文学、社会学、図像学などの研究手法を応用しています。このような手法を用いて、エチケットが時代の変化の中でどのような意味を担ってきたのか、それがフランス社会の中で、何を意味してきたのか、また男女の性別役割をどのように規定するものとして機能してきたのかという問題関心に基づき、時代の流れの中から服装規範とモードの担う意味を読み解きます。さらに、先に見据えるのは、現代における服装のエチケットの問題です。現代、服装のエチケットとは何を意味するのか、エチケットは生きているのか、生きていないとしたら、それはなぜなのかという問題で、この研究は史的事象を扱う研究ではありますが、現代社会を読み解くための新たな視点を提示する研究成果を導き出せたらと考えています。

誕生！文京に教材作成ラボ

昨年、新座キャンパスでリニューアルした教材作成ラボが、今年、趣を新たにして文京キャンパスにも誕生しました。場所は文京キャンパス2号館5FのM2509教室。立ち寄りやすいガラス張りの明るい空間に、Windowsのパソコン6台、Macのパソコン2台(iMac及びMacPro)を設置しました。それぞれのパソコンにはPC教室で使用できるソフトウェアの最新バージョンがインストールされています。これらソフトは、写真・イラスト・音楽・動画コンテンツだけでなく、ビデオカメラ、デジタルカメラ、CD、MD、ipodなどの最新機種を駆使したデジタル教材の作成・編集にも十分対応しています。

また、デスク・チェアなどのインテリアも、カラフルで機能的なものを取り入れたほか、これまでの固定式プロジェクタに代え、移動でき、PCの接続もできる電子黒板を設置して、さらに快適な学習環境を確保しています。

今後ますますICT化が進むなか、文京キャンパスに新たに設けたこの教材作成ラボが、少人数のゼミや学生の発表会、教員の教材作成のためだけでなく、広く学生・教職員が気軽に立ち寄り、活用できる空間として利用されていくことを期待しています。



※詳細については情報サービス課へお問い合わせください。

文責（情報サービス課）

平成25年度 大学・大学院 全入試日程

【大 学】全学部全学科共通（詳細は平成25年度入学試験要項で確認してください。）

入試方式	出願期間		試験日※2	試験科目・選抜方法	合格発表日	
	郵送(必着)					
	窓口※1					
公募推薦 帰国生・社会人	24年11月1日(木)～11月8日(木) 〔郵送のみ〕		24年11月11日(日)	面接	24年11月15日(木)	
一般A方式	A1方式	25年1月9日(水)～1月24日(木)	25年2月1日(金)／ 2月2日(土) 複数日程自由選択※3	国語、英語、 地歴・公民、数学 から2教科にわたり2科目	25年2月6日(水)	
		1月25日(金)10:00～16:00				
	A2方式	25年1月28日(月)～2月16日(土)	25年2月21日(木)		国語・英語	25年2月23日(土)
		2月18日(月)10:00～16:00				
	A3方式	25年2月18日(月)～2月27日(水)	25年3月4日(月)			25年3月6日(水)
	一般B方式	B1方式	25年1月9日(水)～2月6日(水)		大学入試センター試験 〔25年1月19日(土)／ 1月20日(日)〕	2教科2科目を選択
2月7日(木)10:00～16:00						
B2方式		25年2月18日(月)～3月7日(木)	3教科3科目を選択	25年3月14日(木)		
※4 一般AO入試	11月期	24年11月1日(木)～11月7日(水)	出願後、面談・試験は ありません	面談 課題レポート	24年11月15日(木)	
		11月8日(木)10:00～16:00				
12月期	24年11月27日(火)～12月5日(水)	出願後、面談・試験は ありません	面談 課題レポート	24年12月13日(木)		
	12月6日(木)10:00～16:00					
論文AO入試	24年11月27日(火)～12月5日(水)		24年12月9日(日)	論文	24年12月13日(木)	
	12月6日(木)10:00～16:00					
学士編入学学	前期試験	24年11月1日(木)～11月8日(木) 〔郵送のみ〕	24年11月11日(日)	筆記試験(小論文) 口述試験	24年11月15日(木)	
	後期試験	25年1月28日(月)～2月7日(木) 〔郵送のみ〕	25年2月11日(月・祝)		25年2月14日(木)	

《備考》

- ※1 窓口出願場所は文京キャンパス、新座キャンパスです。
 ※2 試験会場は、以下のA方式を除き、新座キャンパスです。
 [A1方式]
 ・2月1日(金) 文京キャンパス/新座キャンパス/学外会場(仙台・新潟・宇都宮・高崎・柏・千葉)
 ・2月2日(土) 文京キャンパス/新座キャンパス
 [A2、A3方式] 文京キャンパス
 ※3 二日間にわたり受験する場合は、同一学科あるいは他学科の受験可能です。
 ※4 面談・課題レポート(2テーマ)を完了した方のみ出願できます。
 面談予約期間:9月11日(火)～11月12日(月)、面談日:11月17日(土)(12月期の出願が可能です)
 ※5 文学部臨床心理学科については、編入学・学士入学試験とも実施しません。

【大学院】全研究科全専攻共通

入試方式	出願期間		試験日	試験・選抜方法	合格発表日
	郵送(必着)				
	窓口※6				
一般・社会人〔後期試験〕	25年1月28日(月)～2月6日(水)		25年2月11日(月・祝)	下記参照※7	25年2月14日(木)
	2月7日(木)10:00～16:00				
一般・社会人〔3月期試験〕 (人文科学研究科臨床心理学 専攻は除く)	25年2月28日(木)～3月7日(木)		25年3月12日(火)	下記参照※7	25年3月14日(木)
	3月8日(金)10:00～16:00				

《備考》

- ※6 窓口出願場所は文京キャンパスと新座キャンパスです。
 ※7 試験内容は下記のとおりです。
 [一般入試] 臨床心理学専攻 筆記試験(専門、外国語<英語>)、口述試験
 日本文化専攻 マネジメント専攻 筆記試験(専門、外国語<英語または日本語>)、口述試験
 ※外国語<日本語>は、外国人留学生のみ受験可能。
 [社会人入試] 臨床心理学専攻 筆記試験(小論文、外国語<英語>)、口述試験
 日本文化専攻 マネジメント専攻 筆記試験(小論文)、口述試験
 ・日本文化専攻・マネジメント専攻においては、AO入試も実施しています。ご希望の方は入試課(048-478-3338)までお問い合わせください。

百人一首・跡見花蹊新収資料展

本学図書館では、学祖跡見花蹊先生に関わる資料と百人一首に関する資料を「特別資料」として特に重点的に収集してきました。

特に「百人一首」は、平成19年3月に閉学した跡見学園女子大学短期大学部（旧：跡見学園短期大学）の旧蔵書を平成20年度以降より「跡見学園女子大学図書館百人一首コレクション」として継承して参りました。現在では3000点におよぶコレクションを収蔵し、日本有数の規模を誇っております。

これらの資料は、普段新座図書館の特別資料室において、湿度や温度を管理されて保管されており、なかなか一般の目にふれることがございません。

そこで、学生はもとより、広く一般の方々に学祖跡見花蹊先生や百人一首について知っていただきたいと、

図書館では、昨年度より「百人一首・跡見花蹊新収資料展」として年2回、春と秋に企画展を開催することといたしました。

2回目となる今回は、5月1日(火)から31日(木)まで新座図書館展示室で開催いたしました。

今回は、新たにコレクションに加わった跡見花蹊の書簡（写真参照）や日本画家で花蹊の従妹である跡見玉枝などの作品のほか、田安家伝来（勝海舟旧蔵）の百人一首など約20点を中心に展示いたしました。



〔書簡〕
跡見花蹊より生源寺伊佐雄あて

マネジメント学部 創設10周年記念 シンポジウム終了報告

2012年4月、マネジメント学部は創設10周年を迎えました。これを記念して2012年6月2日、文京キャンパスのプロッサムホールで記念シンポジウムを行いました。「ネクストジャパン 日本復興計画を考える」をテーマに、震災の打撃や円高、少子高齢化など様々な厳しい現実と直面している日本を、いかに復興させるかを参加者の方と考えました。

基調講演には、TBSテレビ報道局解説・専門記者室長の杉尾秀哉氏をお招きし、日本の復興に関するアイデアを披露していただきました。TBSテレビのキャスターである杉尾氏は演台から離れて参加者の近くで話されるなど、熱弁をふるわれました。後半は、杉尾氏とマネジメント学部教員によるパネルディスカッションが行

われました。日本文化の優位性や環境技術の先進性、注目の観光地、女性の起業等について、意見交換しました。

当日は一般参加者、インターンシップ先企業、卒業生、在学生など約350名が会場に詰め掛けました。参加者にはマネジメント学部の創設10周年を記念して出版された『逆転の日本力』（跡見学園女子大学マネジメント研究会著、株式会社イースト・プレスより出版）が配られました。

シンポジウム終了後、茗蹊会館で卒業生懇親会を開きました。卒業生のほか、退職された先生や在学生、インターンシップでお世話になった企業の方など約130名が参加し、和やかな雰囲気でお開きとなりました。



節電の取り組み

昨年度の厳しい節電実施状況を踏まえ、平成24年度の節電対策を纏めその取り組みをご報告申し上げます。

本学マネジメント学部・大学院マネジメント研究科に於いては、2011年7月13日国連が支援する「責任あるマネジメント教育原則（PRME）」に参加し、2012年6月リオデジャネイロにて開催された国連持続可能な開発会議（リオ+20）における宣言への署名がなされました。これら背景のもと、節電への取り組みは教職員・学生が一体となって取り組む事が望まれております。平成24年度節電対策につき、教職員・学生の理解のもと節電意識の醸成と実践にあたり運用上のきめ細かな努力によりなお一層の改善効果を上げ

るべく、取り組んでおります。その具体策の一例としては、

- ①クールビズ、ウォームビズを推奨する。
- ②室内温度は、室温28℃とする。（昨年、設定温度28℃であったが、部屋の向き、日照により大きなぶれが生じた。）
- ③2号館、4号館の自動ドアについては夏場利用しない。
- ④昼休み時間に、職員、学生による、館内放送を毎日実施。節電意識の実践と意識の醸成。
- ⑤昼休み時間帯の消灯。
- ⑥学生作成ポスターの掲示。

等、学習・研究環境に配慮しつつ多岐にわたる対策が実施されております。

新座キャンパス1号館の耐震への取り組み

本学におきましては、震災直後からキャンパス内建物の安全性・耐震性を確認し、また、災害時の避難経路を十分に考慮した教室配当を行って参りました。

安心・安全なキャンパスを目指す上で、今後、より大規模な地震に備えるべく、詳細、且つ、本格的な耐震診断を実施致しました。大学開学時に建設された新座キャンパスの1号館についても、かなりの強度と耐震性が維持されている事が判明いたしました。講堂部分に一部脆弱な箇所が発見されました。この部分は現在使われていないとはいえ、万々に備え、夏休みに本格的な耐震工事を実施する事となりました。

工事の概要は、1号館Ⅱ期棟4・5階の大空間である講堂の撤去。建物の一部における、壁・柱の補強工事、鉄骨耐震ブレースによる補強の実施。そのため6月からは、工事準備の足場・クレーンの架設に伴い1号館の一部は立ち入り禁止とし、順次工事を進め、本格的な工事は8月6日の夏休みから開始し、9月25日には無事終了致しました。

又、講堂内のグランドピアノについては文京キャンパスプロッサムホールに移設致しました。

本学では、今後も学生が安心して学ぶことのできる環境を整えるよう尽力してまいります。



工事前



工事後

ネットワークリプレイスについて

東日本大震災では、新座キャンパス停電に伴う Web サーバ、Mail サーバ等の全面的なダウンにより、学園全体で様々なサービスやインターネットが使えないという現象が起きてしまいました。これは、殆どのサーバ、インターネットへの出口が新座キャンパスに集約されていたためです。この経験を踏まえ、昨年に対応策を検討するためにネットワーク会議を設置し審議を重ね、それに基づき、従来どおりの機器更新を取りやめ、基幹サーバを中心に学外のデータセンターにサーバを移設することによる学園のネットワーク再構築等の防災対策を実施してきました。

具体的な内容は以下のとおりです。

- 堅牢なデータセンターにサーバを設置し、停電時や災害時にもシステムを継続稼働させ、重要なデータを守る。
- 各建屋に設置している基幹スイッチは全て、仮想化技術を採用し、ネットワーク機器の台数を増やさずに冗長構成を構築。
- 無線 LAN システム構築に伴い、学園内の様々な場所で持ち込み PC などインターネット接続が可能となり、利便性向上を実現。

このように、他機関や他キャンパスに及ぶ大規模な通信断が発生しないよう回線及び機器の冗長化を行ったことにより、大学、中高、法人のいずれで不具合が起きても、その影響を最小限にとどめ、止まらないネットワーク環境を整備することができました。

新しいネットワーク環境での稼働は9月1日からとなります。

◆ 行事予定 ◆

10月	1日(月)	秋学期通常授業開始
	1日(月)～4日(木)	秋学期1次履修登録申請期間
	8日(月)～9日(火)	秋学期2次履修登録申請期間
11月	11日(木)～12日(金)	履修登録訂正期間
	2日(金)	紫祭準備日
	3日(土)～4日(日)	紫祭
	5日(月)	紫祭片付日
12月	23日(金)	通常授業実施日
	24日(月)	通常授業実施日
	25日(火)	土曜日授業振替実施
	26日(水)	月曜日授業振替実施
	27日(木)～1月8日(火)	冬季休業
1月	8日(火)	創立記念日
	9日(水)	通常授業開始
	19日(土)～20日(日)	大学入試センター試験(休講)
	23日(水)～29日(火)	授業評価期間
2月	30日(水)～31日(木)	補講日
	1日(金)～2日(土)	一般入試(休講)
	4日(月)～9日(土)	秋学期定期試験期間 秋学期定期試験予備日・追試験日
	12日(火)	補講期間(集中講義等あり)
3月	13日(水)～28日(木)	補講期間(集中講義等あり)
	1日(金)～31日(日)	春季休業(集中講義・学生面談等あり)
	5日(火)	卒業・修了発表
	9日(土)	進級発表
	18日(月)	卒業式

◆ ニュース ◆ 今年は跡見花蹊 YEAR !!

本学創立者跡見花蹊の作品が紹介されます！

今夏に東京国立博物館「女性画家」展(平成館企画展示室)をはじめ、栃木県小山市立車屋美術館で企画展覧会「近代の南画 奥原晴湖・跡見花蹊・野口小蘋」展が開催されます。花蹊記念資料館からは、跡見花蹊の作品が6点出品される予定です。普段はなかなか目にするこののない、跡見花蹊の作品に触れるチャンスです。ぜひ足をお運びください。詳細は、下記HPをご覧ください。

◆ 近代の南画 奥原晴湖・跡見花蹊・野口小蘋 ◆

2012年11月23日(金・祝)～2013年1月14日(月・祝)

明治、大正から昭和初期にかけて活躍した南画家・奥原晴湖(1837-1913)、跡見花蹊(1840-1926)、野口小蘋(1847-1917)の展覧会。近代という激動の時代に、画家として頂点を極めた三人の女性たちの作品を紹介します。小川家コレクションより花蹊、小蘋の作品を公開します。(HPより)

<http://www.city.oyama.tochigi.jp/kyoikuinkai/kurumayabizyutukan/annai/gaiyou.html>

花蹊の筆墨(37)

素描集全八集の内二 植物 一卷 明治～大正時代
跡見学園女子大学花蹊記念資料館蔵

世には自分の一度学んだ流派を固執して他の流派をやることを善くないやうに申すものも御座いますが、私はさうは思はないのです。～中略～
それで私は時に南画を書いたり、時に円山派を書いたり、又時には両者相混じたものを書いたり、全く自分の好きなやうに書いて居ります。只何でも一度やり出した事を途中で絶えずに、最後迄やり抜く様でありたいと思ひます。而うすれば、天性上手でないものでも、矢張り長い間に驚くべき進歩を見るのであります。却つて下手の勉強家の方が大成するのです。

『跡見花蹊教育詞藻』平成7年 跡見学園発行 より

素描集は折にふれて描きとめた多くの習作や小品を巻物に仕立てたもので、丸山派の写生に基づいた動植物、南画の画法を生かした山水や景物、構図の下絵類、戯画など多様なジャンルの作品が収められている。本巻には、跡見花蹊の絵画作品の多様さを物語る、34点が収められている。この中から、私たちにとっても身近なユリ、ヒマワリ、コイを掲出した。



流派にこだわらない制作姿勢は、日々の教授の中にも見出すことができる。

(花蹊記念資料館 学芸員 渡辺泉)

● 編集後記 ●

暑い夏も過ぎて秋へと移り変わり、ついに紫祭の季節がやってきました。

毎年たくさんの来場者で跡見を明るくにぎやかにさせてくれます。

ぜひ、皆様も紫祭にお越しになって学生たちと直接触れ合い、元気なパワーをお持ち帰りいただきたいと思ひます。ご来校を心よりお待ちしております。